

「全国がん登録 宮城の手引き」作成 ～初心者への働きかけ～

佐藤洋子¹⁾ 齋藤美登里¹⁾ 植野由佳¹⁾

佐藤優希¹⁾ 目崎はる香¹⁾ 菊田早智子¹⁾ 金村政輝¹⁾²⁾

¹⁾宮城県立がんセンター 宮城県がん登録室

²⁾宮城県立がんセンター研究所 がん疫学・予防研究部



【背景と目的】

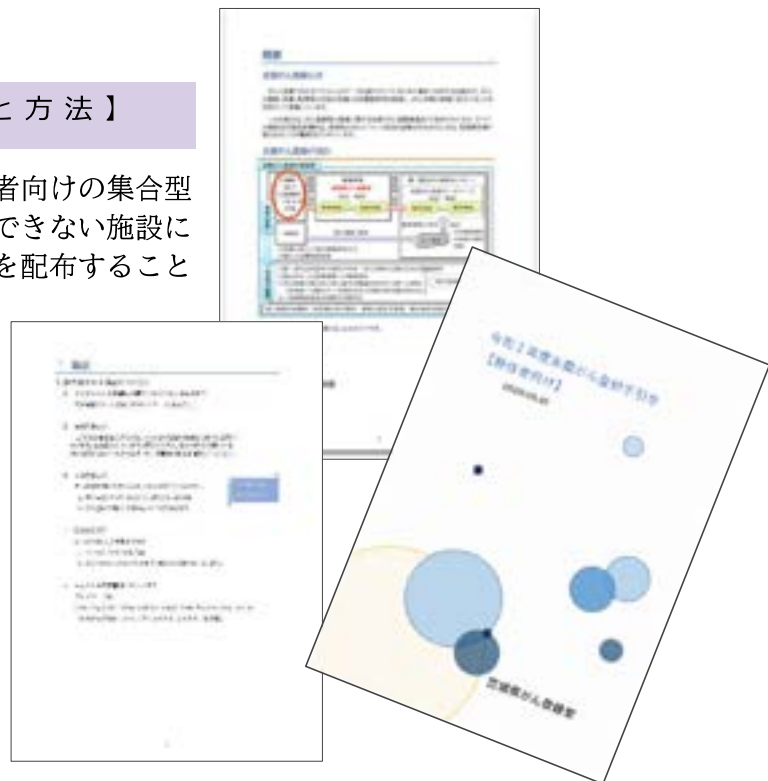
宮城県では、これまで「もっと詳しく」という考え方で説明会等を行ってきた。しかし、初めて全国がん登録を担当する方にとっては、難しすぎる内容になってしまい説明会の途中で挫折してしまう姿が幾度か見られた。そこで、説明会で求められていることを見直し、一人で担当する施設や届出件数の少ない施設に働きかけるべきと方針転換をした。全国がん登録実務未経験者に流れを掴んで貰うことを目的とし、手引きを作成し配布したので報告する。

【対象者の現状把握】

登録室内で検討した結果、診療情報管理士以外の職種が全国がん登録の担当をしている病院が少なくないこと、届出件数が少ない病院では、引き継ぎがされないまま前任が退職したなどの理由から初歩的なことがわからないなどの問題があることがわかった。届出が遅れた施設の中には、全国がん登録って何するの？などの声もあり、届出が義務であることを認識していない施設が見受けられた。

【伝えるべき情報と方法】

宮城県では、毎年春に新任者向けの集合型説明会を行ってきたが、参加できない施設にも情報発信ができるよう資料を配布することとした。また、従来のような登録に関する詳細な情報ではなく、全国がん登録に初めて携わる人が登録に必要な準備ができる内容とすることが、効果的と考えた。




【 手 引 き の 作 成 と 配 布 】

説明会用に作成したパワーポイントでは、ポイントを絞った内容で作成しており、全体像を掴むことが難しく日常的な資料には不向きと判断した。そこで、基本的な内容に特化し、本編と参考資料の2部構成で手引きを作成し県内の全病院に配布した。

届出対象の抽出方法

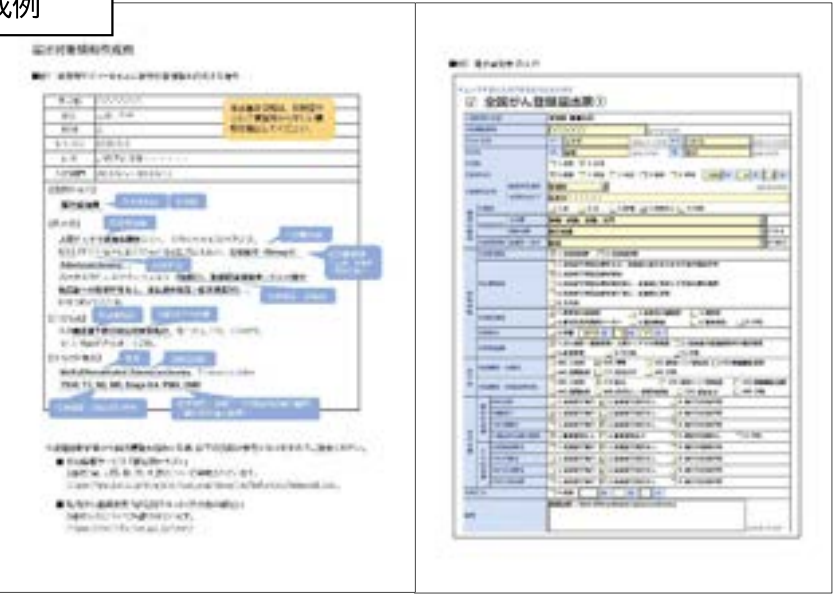
全国がん登録届出申請書作成から届出までの流れ

個人情報の保護



届出対象情報作成例

届出対象者を抽出する方法は、各施設によって異なりますが、今回は、情報が比較的抽出しやすい退院時サマリーと診療情報提供書を例にしました。



【 考 察 】

病院担当者と共通のツールができたことで、問い合わせの際に説明がしやすくなった。また、他県からも問い合わせがあり活用いただいたが、他県でも同様の課題があることが分かった。今後、内容を更新しながら継続的に発行する予定である。